事業所名：黒石ケアサポートセンター(認知症対応型)

作成日：　平成　26　年　10　月　21　日

２　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者のケアプラン作成時や、課題が確認された場合に、現在「ひもときシート」を使用し、アセスメントに活用している。使用を継続している状況での課題として、シート活用からプラン作成までの視点に差があることと、シート活用での利用者の変化等の評価を出せていないことが上げられる。	利用者のニーズや課題をとらえる視点・それらの原因をたくさんの方向から探る視点・原因を解決する為に、利用者自身が行うことと、自分達の役割を明確にすることを、職員が実践できるようにする。又、シートの活用で、利用者がどのように変化したのかをきちんと評価し、活用の継続へ繋げる。	①「ひもときシート」の活用で、利用者のニーズや課題抽出・ひもとき・解決方法の抽出までの流れでの重要な視点を伝える勉強会を実施する。(外部研修参加者からの伝達) ・①回目：平成26年10月28日(火) ・②回目：平成27年2月中	6か月
2	23	同上	同上	②ケアプラン更新時、前回で使用したひもときシートも確認し、前回のニーズ・課題が解決されているかや、具体的な利用者の変化した状態をカンファレンスで確認と評価していく。 ・各ケース担当者が、実際に利用者がどのように変化したかを評価する。 ・ケアマネージャーとサービス計画策定者は、ひもときシートから原因を探るまでを、ケース担当者が導き出せるよう誘導する。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。